

# 「草加市の明日の保育を考える市長懇談会」資料

2012年11月2日

草加市長 田中和明 様

草加市保育園父母会連合会 会長 高山 幸一郎

田中市長におかれましては、日頃より草加市の子育て環境向上のためにご尽力をいただき、誠にありがとうございます。またこのたびは、草加市のよりよい保育を考えるための市長懇談会を開催していただき、誠にありがとうございます。

今年度におきましては、新たに2園の新設認可保育園がスタートし、待機児童数の減少が見られました。また長年の念願だった完全給食の無償化実施が4月からスタートし、加えて、市立病院の敷地内に「子ども急病クリニック」が開設され、私たち保護者は大いに喜んでます。今後も草加市の保育行政に大いに期待しているところです。

今年度も父母連は、約1700の保育園世帯にアンケートを実施し、よりよい保育を望む多くの保護者の声をあつめています。また毎月の各園父母会による代表者会にて、様々な要望や意見を吸い上げてきました。それらを下記にまとめ、市長懇談会の資料とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

## 記

### <待機児童対策について>

これまで草加市では民間認可保育園の新設を続け、待機児童は着実に減少してきていますが、2012年9月現在の待機児童数は326人となっており、依然として待機児童対策が最重要課題であると父母連では認識しています。草加市によると、今年度で認可保育園の新設計画は終了とのことですが、待機児童に関する現状認識と、今後の対策についてお聞かせください。

### <質の高い草加の保育の維持・向上と情報発信について>

①私たち保護者は、草加市が誇ってきた質の高い保育内容をとても感謝し、また草加で子育てできることを誇りに感じてきました。今後とも草加の誇れる保育内容をさらに維持・向上させていただきたいと思っています。公立の保育士の先生方は、これまでも人事交流や保育年齢別の研修会・学習会を行うことで保育内容の充実を図ってきました。一方ここ数年で増えてきている民間認可保育園についてはそうした研修の機会がどのように保障されているのか、父母連としては把握しきれしていません。父母連としては、公立・民間の垣根を越えて相互に実践を深めて保育の質を維持・向上させることが必要と考えます。昨年度の市長懇談会では、今後民間についても、積極的に研修への呼びかけや支援をしていくとのことでしたが、昨年度と比較して、民間認可保育園と公立保育園における保育士研修（合同研修等）がどのように変わったについてお聞かせください。

②2012年度までで、民間認可保育園が草加市内の認可保育園の約4割を占めました。子ども子育て新システムが法案として可決され、近い将来、保護者が直接保育園と契約する状況が予想されます。今後も「草加で子育てをしたい」といえる自治体にするためにも、それぞれの保育園がどのような保育方針のもとで保育が行われているかという情報発信が必要と考えています。とりわけ0歳児保育や育成保育については高い専門性と経験や知識が必要となるため、保護者の関心は高いです。一部の民間認可保育園においてはホームページ等で情報発信をしている園もみられますが、公立保育園も含め、まだ十分とはいえない状況と思われまます。草加市のホームページ内にも、すばらしい保育実践や取り組みについて詳しく紹介するページは見当たりません。今後の草加市の保育園の情報公開について、市の見解をお聞かせください。

### <公立保育園の存続意義と今後の建て替え対応について>

①現在の草加市における公立保育園は、古い園舎においては老朽化が激しく、近い将来においては建て替

え、移転が必要になるとみられています。また街の再開発や区画整理等によって、立ち退きや移転を余儀なくされるケースも予想されます。草加市の公立保育園はこれまで他市や他県に誇れる、素晴らしい保育実践を積み上げてきました。公立園のノウハウや職員の指導力は草加市の宝と言えます。これらの保育実践を守りながら、民間認可保育園との実践交流で草加市全体の保育の質を高める意味でも、待機児童対策という点においても、既存の公立保育園を閉園することはあってはならないと私たちは考えています。草加市として、公立保育園の存続意義についてどのように認識しているか、また老朽化や再開発等に伴う保育園舎の建て替え・移転について今後の見通しをお聞かせください。

②特にやつか保育園については老朽化が激しく、一方で近隣に民間認可保育園が新設されました。またきたや保育園は UR 都市公団の再開発事業に伴い、将来的に現在地からの立ち退きを余儀なくされます。前述の通り、公立保育園の果たす役割は大きく、また市民の期待も大変に大きいものがあります。ぜひやつか保育園については大規模補修による施設改善、もしくは近隣への移転、きたや保育園については近隣への移転による存続をお願いします。

### <草加市における0歳児保育のあり方について>

- ①2012年11月現在において「休止状態」とされている「草加市における0歳児保育施設の整備方針」について、今後の取り扱いの見通しについてお聞かせください。
- ②公立保育園の0歳児保育における時間外保育・延長保育・土曜保育のニーズが保護者から寄せられています。これまでは家庭保育室においてそうした0歳児の長時間の保育が行われてきましたが、安全性確保や体調管理の面から公立保育園では時間外保育等は行われてきませんでした。近年、働き方がより多様になり、0歳児の親であっても働かざるを得ない現状があります。公立保育園における0歳児保育の時間外保育等について、今後の見通しをお聞かせください。

### <子育て関連法案（子ども子育て新システム）について>

ご承知のとおり、今夏、国会において子育て関連法案が可決され、今後新しい保育制度が導入されることとなります。私たち父母連は、これまでもこの「子ども子育て新システム」は現行の草加市の高い保育の質を損ないかねないものだと危惧してきており、高い関心をもって学んでいるところです。草加市においては、今後も高い保育の質を担保するために、情報収集を行いながら引き続き法案や予算の動向に高い関心をもっていただきたいと思います。新システムに対する今後の対応について現状と今後の見通しについてお聞かせください。

### <草加市の保育施策や保育環境について>

- ①待機児童の多くは認可外保育施設を利用しています。同じ草加市の「保育に欠ける」子どもであり、これらの子どもたちの健康や安全について草加市が同等の援助をすべきことと考えます。認可外保育施設利用の児童に草加市の保育園が行っていると同様の医科歯科検診を市が行ってください。また、待機児童であって認可外保育室に入所している場合は、「草加市保育料の徴収に関する規則」を適用し、第二子減免措置等や草加市の保育料基準を上回る保護者負担については草加市が補填をする等の負担軽減策の検討をお願いします。
- ②草加市による「保育料の第二子減免措置」「第三子保育料無料化」に感謝申し上げます。しかしアンケートの結果、依然として、草加市の保育料を高いと感じている家庭が多く、要望の第1位として「保育料の引き下げ」を望む声が多いのが現状です。またトータルの保護者負担は県内の自治体と比較してもまだまだ高額です。
- ア. 特に保育料が高いという声の高い、0・1・2歳児の保育料について引き下げを検討してください。
- イ. 保育料の支払が困難な世帯には「草加市保育料の減免実施基準」を積極的に適用してください。
- ③保育環境の安全と充実のために草加市の子どもたちが利用している認可外保育施設の実態を把握し、必要に応じて、監督、指導、あるいは現場スタッフへの研修を行い、認可外保育施設等を利用している子どもたちの安全で良質な保育が提供できるようにしてください。
- ④延長保育の全園実施の早期実現をお願いします。また、延長保育事業の進捗状況及び今後の方針について教えてください。

- ⑤2008年度4月よりスタートしました市の「送迎保育」は、延長保育未実施園の世帯や時期によって就業時間が変動する世帯にとっては、有効な施策として機能しています。今後も積極的な活用を促すための周知をお願いします。
- ⑥育成保育（障がい児保育）について、全園を対象に育成保育を実施して下さっていることに感謝しております。育成保育について、以下に要望をまとめました。
- ア. 障がいや慢性疾患を持つ子どもは、療育や訓練、定期的な受診・受療など、保護者によらなければならないケアが必要であり、保護者の就労は事実上不可能な実態があります。入園申込にあたっては「草加市保育の実施に関する条例」の保育の実施基準（7）の適用、もしくは、就労予定や内職などでの特別枠での入園を検討してください。
- イ. 育成対象児についても、ぜひ時間外保育・延長保育・土曜保育の希望者全員の受け入れをお願いします。また時間外保育・延長保育・土曜保育が可能となるよう、必要な人的配置をお願いします。
- ウ. 近隣5市で出資している障がい児療育施設「中川の郷療育センター」は、交通の便が良くない地域にあり、障がいのある子どもを連れて通所することが難しいという声が寄せられています。草加市内もしくは最寄駅からの直通バスを運行する等の利便性の向上をお願いします。
- エ. ここ数年で、実に多様な障がいのある園児が育成保育対象児として入園してきています。受け入れは保護者にとって非常にありがたく思っていますが、一方で保育士の先生方が様々な障がいに関する専門的な知識を身につけるための研修はまだ十分とは言えない状況です。昨年度の市長懇談会においても「育成保育は公立保育園の責務」との発言があり、子育て支援センターとの連携の可能性を検討するとのことでした。障がいに関する保育士の専門研修の現状をお聞かせください。
- ⑦安定した質の高い保育園職員の人材確保のためにも保育士・看護師・栄養士・調理師・技能員の採用はぜひ正規職員をお願いします。また現在、臨時職員の時給は950円と、命を育み守る職業に見合う賃金とは言えません。また、臨時職員の場合は正規職員と同じ仕事をしながら退職金が支給されません。賃金の低さが保育士や栄養士の確保を難しくしている大きな要因と考えますので、ぜひ賃金増や退職金支給を含めた臨時職員の待遇改善をお願いします。
- ⑧公立保育園では、定員の弾力化が一定程度改善され、より園児にきめ細かい対応ができるようになってきました。しかし依然として一人の保育士が受け持つ園児の数は非常に多く、特に幼児クラスでは十分に目が行き届かない場面もあるようです。ぜひ保育士配置の改善の検討をお願いします。
- ⑨今後子育て新システムが施行されることにともない、保育課としての業務はさらに膨大になることが予想されます。これまでも年少扶養控除廃止にともなう、保育料の再計算等で業務の多忙化が指摘されています。ぜひ市保育課の職員の増員についても検討をお願いします。
- ⑩現行の給食は草加の宝物であり、保護者からも高い評価を得ています。今後もぜひ自園直営方式による給食提供を続けてください。

～以上～